

「2R」に求められる視点と取組の方向性（案）

	視点（一部集約）	前回会議を踏まえた取組の方向性	主な意見
家庭系	ごみ減量や環境配慮行動を促すための取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 取組方法の周知強化 ● 取組促進に向けた動機付け ● 町内会における取組促進 ● 効果の見える化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者は取組の方法を知らないだけ ・ 何かインセンティブがあると取組が進む ・ 町内会において今の取組＋アルファの取組 ・ 単に数値目標だけでなく、効果の見える化
	継続的な生ごみ減量・食品ロス対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報提供・情報発信の推進 <p style="text-align: center;">関連資料：資料2－視点①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費期限や賞味期限を学べば生ごみ排出が削減 ・ 生ごみ処理機等の助成制度を活用する市民に情報提供のキーパーソンとなってもらう
	リユース機会の提供 ※「リユースに関する情報提供」と「リユース機会の提供」を集約	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報提供の推進 ● 取組の見える化 ● 民間の取組の推進 ● リユース品目の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古着回収等を知らない人が多い ・ 取組の数値化（取組件数、事業者数など） ・ 循環の仕組みが出来上がっているものへの応援 ・ ファッションロス等の新古品の循環の仕組み
	高齢者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 回収方法の構築 <p style="text-align: center;">関連資料：資料2－視点②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者は物を持っていくことが難しい
事業系	事業者による自主的なごみの減量への取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域との連携の構築 <p style="text-align: center;">関連資料：資料2－視点③</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域市民と事業者が互いに情報を取れる仕組み
	イベントごみ・観光ごみ対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報提供・情報発信の推進 <p style="text-align: center;">関連資料：資料2－視点④</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント時の分別等の呼びかけ ・ イベントを活用した情報発信